



2023年8月31日
 ゆりりん高輪保育園
 看護師 高橋・徳田

夏休みが終わり、お休み中の楽しかった思い出を話す子どもたちの会話がたくさん聞こえてきます。まだ残暑はありますが、朝夕は涼しくなってきたので、気温の変化で体調を崩さないように気を付けましょう。

とびひが増える季節です！



台風が発生する時期に意外と多くみられるのがとびひです。湿度が高く、汗をかきやすいことが原因といわれています。また、夏の疲れが出やすい8月の終わりから9月頃に多くみられます。あせもや虫刺されなどの湿疹を掻き壊し傷口からばい菌が入り込んで1か所だけでなく、体のあちこちに飛んでしまいます。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのが、とびひの始まりのサインです。

【主な症状】

- ・皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- ・強いかゆみがある
- ・水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる

【家庭での手当て】

- ・じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う。
- ・お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔に保つ。
- ・湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る。
- ・かきこわしてしまわないように爪を短く切る。



患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたらガーゼで覆いましょう！

伝染性膿痂疹（とびひ）と診断された場合、登園される際にはB書類（保護者が記入する）が必要となります。9月からは、暑さ指数に応じて戶外活動を行う機会が増えます。各ご家庭でお子様にあった虫よけ対策をして登園のご協力よろしくお願い致します。

スキンケアについて

子どもの皮膚は、大人と比べると厚さが半分程度しかありません。肌のバリア機能は未熟で皮脂の分泌量も少ないため、夏でも乾燥しやすいので注意してあげましょう。夏の時期は湿度も高くて、肌が乾燥するとは考えにくいかもしれませんが、紫外線やエアコンの風、お風呂など子どもの肌の乾燥を招く要因がたくさんあります。乾燥している状態が進むと、肌のトラブルを起こしやすくなります。まだまだ暑い日が続くそうなので、今回はスキンケアのポイントをまとめました。

【スキンケアのポイント】

- ・肌を清潔に保つ（洗浄）→
石鹸の泡で擦らずやさしく洗ってあげ、しっかり泡をながしてあげましょう！
 - ・うるおいを与える（保湿）→
お風呂や着替えなどのタイミングでたっぷり保湿してあげましょう！
 - ・紫外線のダメージから身体を守る（紫外線防御）→
帽子などで日よけ対策をしましょう！日焼け止めを使用した後はしっかり洗い流しましょう！
- ※1人1人肌質が異なりますので肌に合うスキンケアを実施していきましょう！



8月の感染症状況

8月は大きな感染症の流行はありませんでしたが、溶連菌感染症が断続的にみられました。8月後半よりコロナウイルス感染症が見られはじめました。

- ・風邪症状（鼻水・くしゃみ・咳など）
- ・発熱
- ・胃腸炎症状（嘔吐・下痢・食欲不振など）
- ・スキントラブル（虫刺され・乾燥など）

上記のような症状がみられています。症状が強く辛そうな様子がみられる時や、クラスで感染症流行時は、状況を見てご連絡させて頂く場合がございます。

また、適宜虫刺されや乾燥が見られる際は状況に応じて園のワセリン・レスタミンクリームを使用しておりますが、軟膏の塗布が継続して必要な場合や傷・ただれ・乾燥が強い場合は受診をお願い致します。

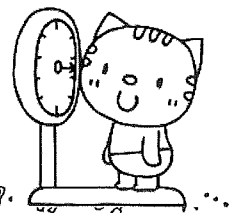
保健行事予定

<健康診断>

- ◎0・1歳児：7日（木） 14：40～
- ◎0・2歳児：21日（木） 14：40～

<身体測定>

- ◎0歳児：8日（金）
- ◎1歳児：7日（木）
- ◎2歳児：6日（水）
- ◎3歳児：5日（火）
- ◎4・5歳児：4日（月）



防災週間



9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、常備薬の賞味・消費期限などの確認、懐中電灯・携帯ラジオ・予備の乾電池などの見直しをしておきましょう。

また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し説明し緊急時に備えるようにしましょう。園でも毎月、避難訓練を実施しています。